

日本熱帯農業学会平成28年度総会並びに第119回講演会

期 日 2016年3月23日（水）・3月24日（木）
 場 所 明治大学農学部（生田キャンパス）
 事務局 〒214-8571 川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学農学部
 運営委員長 岩崎直人
 運営委員 今井 勝, 小早川紘樹, 佐伯 爽
 TEL: 044-934-7817 (岩崎), 7807 (今井)
 FAX: 044-934-7817 (岩崎)
 E-mail iwasaki@meiji.ac.jp (岩崎: 問い合わせ)
 cf40206@meiji.ac.jp (佐伯: 参加・発表申込)

参加費 一般: 5,000円, 学生: 3,000円 (要旨集代を含む, 当日受け付けます)
 懇親会費 一般: 4,000円, 学生: 2,000円 (当日受け付けます)

受付 第一校舎（農学部）, 6号館1階 (3月23日 8:30～, 3月24日 8:30～)

講演会 研究発表 (発表時間12分, 質問時間3分)

第1日 3月23日 (水)		
	第1会場 (6号館6-206)	第2会場 (6号館6-207)
9:30 -12:00	研究発表 (講演番号1-10)	研究発表 (講演番号11-20)
13:00 -14:00	総会, 学会賞授賞式 (中央校舎 メディアホール)	
14:00 -15:00	受賞記念講演 (中央校舎 メディアホール)	
15:00 -17:30	公開シンポジウム (中央校舎 メディアホール)	
18:00 -20:00	懇親会 (食堂館スクエア21)	

第2日 3月24日 (木)		
	第1会場 (6号館6-206)	第2会場 (6号館6-207)
9:30 -11:15	研究発表 (講演番号21-27)	研究発表 (講演番号28-34)

第1日 3月23日 (水)

受付 (8:30～) 6号館1階ロビーにて行います。

研究発表 (9:30～12:00)

第1日 3月23日 (水)				
研究発表 (発表時間12分, 質疑応答3分)				
	第1会場 (6号館6-206)		第2会場 (6号館6-207)	
	座長	講演題目	座長	講演題目
9:30 -9:45		1. ケニア灌漑水田で耕耘・代かき方法改良による漏水対策 *佐々木由佳 ¹ ・福田翔太 ¹ ・鮫島啓彰 ² ・John Kimani ³ ・榎原大悟 ² ・山内章 ⁴ (¹ 山形大学農学部・ ² 名古屋大学農学国際教育協力研究センター・ ³ ケニア農畜産業研究機構ムエア支所・ ⁴ 名古屋大学大学院生命農学研究科)		11. 「逆転の発想」による荒廃地の環境修復と紛争予防 —西アフリカ・サヘルにおける都市ゴミと家畜を使った緑化活動— *大山修一・桐越仁美・原将也・近藤史 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
9:45 -10:00	坂上潤一	2. ケニア西部ビクトリア湖岸地域の稲作農民の稲作に関する意識調査 *山根裕子 ¹ ・一條洋子 ² ・伊藤香純 ¹ ・浅沼修一 ¹ (¹ 名古屋大学農学国際教育協力研究センター・ ² 東京農工大学)	志水勝好	12. 西アフリカ・スーダンサバンナにおける保全農業作付け体系の水食抑制効果とそのメカニズム *伊ヶ崎健大 ¹ ・南雲不二男 ¹ ・シンボレ サイド ² ・大前 英 ¹ ・内田 諭 ¹ ・パロ アルペール ² (¹ 国際農林水産業研究センター・ ² ブルキナファソ環境農業研究所)

10:00 -10:15	(鹿 児 島 大 学)	3. ウガンダにおけるイネ害虫、天敵の発生状況 *平野温子 ¹ ・Michael H. Otim ² ・時田邦弘 ³ ・坪井達史 ⁴ ・藤家梓 ⁴ (1元青年海外協力隊・2ウガンダ国立作物資源研究所・3日本大学・4元JICA 専門家)	(鹿 児 島 大 学)	13. Sustainability assessment of informal seed supply system of tef in Ethiopia, II. Comparison of different perspectives on informal system in Ethiopian context *Y. Nishikawa ¹ ・K. Nemoto ² and T. Gemechu ³ (1Fac. of Economics, Ryukoku Univ.・2Graduate School of Arg., Shinshu Univ.・3Adami Tulu Ag. Res. Center)
10:15 -10:30		4. ウガンダのイネ害虫シュモクバエ類の発生と芯枯れ被害の評価 *平野温子 ¹ ・Michael H. Otim ² ・時田邦弘 ³ ・坪井達史 ⁴ ・藤家梓 ⁴ (1元青年海外協力隊・2ウガンダ国立作物資源研究所・3日本大学・4元JICA 専門家)		14. Sustainability assessment of informal seed supply system of tef in Ethiopia, III. Comparison of farmers' recognition on different tef varieties K. Nemoto ¹ , *Y. Nishikawa ² and T. Gemechu ³ (1 Graduate School of Arg., Shinshu Univ., ² Fac. of Economics, Ryukoku Univ., ³ Adami Tulu Ag. Res. Center)
10:30 -10:45		5. Farmers' Adaptation Strategy to Foreign Farming Methods ~A Case of Pearl millet-Rice Mixed Cropping System in Northern Namibia~ *Kiyomi Kaida ¹ ・Yoshiaki Nishikawa ¹ ・Ottillie Shivolo ² ・Benisiu Thomas ² ・Yuichiro Fujioka ³ (1Ryukoku University, ² University of Namibia, ³ Tohoku University)		15. ラオス国における商品作物振興のための営農指導とその効果 -JICA技術協力プロジェクト「南部メコン川沿岸地域参加型 灌漑農業振興プロジェクト(PIAD)」を事例として- *新田直人 ¹ ・片山克己 ² ・Philavanh Xakhamphou ³ ・植田康成 ^{2,4} (1国際農林業協働協会・2国際協力機構専門家・3サワナケート県農林局・4現、農林水産省農村振興局)
10:45 -11:00	縄 田 栄 治 (京 都 大 学)	6. 乾燥条件におけるイネの高速発芽・出芽技術の確立 坂上潤一 ¹ ・松嶋賢一 ² ・中尾祥宏 ¹ (1鹿児島大学農部・2東京農業大学)	江 原 宏 (名 古 屋 大 学)	16. ラオス国における水稻幼苗正条植えの指導とその効果 -JICA技術協力プロジェクト「南部メコン川沿岸地域参加型 灌漑農業振興プロジェクト(PIAD)」を事例として- *新田直人 ¹ ・Chanlakhone Xayalath ² ・Khounthala Siharath ³ ・Philavanh Xakhamphou ² (1国際農林業協働協会・2サワナケート県農林局・3サイブリ郡農事事務所)
11:00 -11:15		7. 南インド水田における温室効果ガスの動態と土壌理化学性 犬伏和之 ¹ ・*竹内大樹 ¹ ・間野正美 ¹ ・須藤重人 ² ・山本昭範 ³ ・林田佐智子 ⁴ (1千葉大学・2農業環境技術研究所・3東京学芸大学・4奈良女子大学)		17. Learning about Locally Existing Technologies by Rapid Rural Appraisal in the Villages, Kanpalet Township, Chin State, Myanmar Kazuo Ando ^{*1} ・Yoshio Akamatsu ¹ ・Khin Lay Swe ² (1CSEAS, Kyoto University, ² ECCDL, Myanmar)
11:15 -11:30		8. ホワイトギニアヤムにおける簡易澱粉抽出法の開発および澱粉糊化特性の品種間差の評価 *松本亮・村中聡・山中慎介・吉橋忠・高木洋子 (国際農林水産業研究センター)		18. ミャンマー・バゴー山地の焼畑休閑地の植生回復を規定する要因 -カレン村落における過去14年間のモニタリングに基づく解析- *鈴木玲治 ¹ ・竹田晋也 ² ・ニエンチャン ² (1京都学園大学バイオ環境学部・2京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
11:30 -11:45	今 井 勝 (明 治 大 学)	9. Effect of Nitrogen Fertilizer on Growth of the Lesser Yam (<i>Dioscorea esculenta</i> L.) *Abdul Qayom Rezaei ¹ ・Hidehiko Kikuno ¹ ・Kaoru Sugiyama ¹ ・Pachakkil Babil ¹ ・Byoung-Jae Park ² ・Michio Onjo ² and Hironobu Shiwachi ¹ (1Tokyo University of Agriculture・2Kagoshima University)	五 十 嵐 大 造 (東 京 農 業 大 学)	19. 塩ストレスに対するササゲ属植物の主根と不定根の反応の比較 *吉田純子 ¹ ・小南輝昌 ¹ ・友岡憲彦 ² ・江原 宏 ³ (1三重大学大学院生物資源学研究所・2農業生物資源研究所遺伝資源センター・3名古屋大学農学国際教育協力研究センター)
11:45 -12:00		10. ダイジョに内生する窒素固定細菌に関する研究 *高田花奈子 ¹ ・菊野日出彦 ¹ ・池永誠 ² ・境雅夫 ² ・遠城道雄 ² ・朴炳宰 ² ・Babil Pachakkil ¹ ・志和地弘信 ¹ (1東京農業大学農学部・2鹿児島大学農学部)		20. 台湾原住民族の檳榔利用 山本宗立 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)
昼休み (12:00~13:00)				
総会 (中央校舎6階 メディアホール13:00分~13:45分)				
議事				
イ. 平成27年度事業報告				
ロ. 平成27年度決算報告				
ハ. 平成28年度事業計画案				
二. 平成28年度予算案				
ホ. その他				
休憩 (13:45~14:00)				
受賞記念講演 (14:00~14:45)				
アジア・オセアニアにおけるトウガラシ属の民族植物学的研究 山本宗立 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)				

休憩 (14:45~15:00)
<p>公開シンポジウム (中央校舎6階 メディアホールにて15:00~17:30分)</p> <p>講演テーマ: 国際化時代の熱帯農業 - 新たな生物資源の活用について -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高デンプン生産性作物の貯蔵器官における貯蔵物質の蓄積構造 新田洋司 (茨城大学農学部) ・ミャンマーにおけるイネ品種の多様性と遺伝資源消失の危機について 梅崎輝尚 (三重大学) ・国産アボカドの経済栽培は可能か 米本仁巳 (日本熱帯果樹協会)
懇親会 (食堂館スクエア21 18:00~20:00)

第2日 3月24日 (木)

受付 (8:30~) 6号館1階ロビーにて行います。

研究発表 (9:30~11:15)

第2日 3月24日 (木)			
研究発表 (発表時間12分, 質疑応答3分)			
第1会場 (6号館6-206)		第2会場 (6号館6-207)	
座長	講演題目	座長	講演題目
9:30 -9:45	21. パッションフルーツの自然落果発生機構に関する研究Ⅱ - 離層周辺部の顕微鏡観察と細胞壁分解酵素活性の測定 - 篠原卓・*辻岡徹也・吉田沙樹・五十嵐大造 (東京農業大学短期大学部)		28. 長期育苗したキャベツセル成型苗におけるMDA含有量および水ポテンシャルと耐凍性の関係 五十嵐大造・*大箸寿実・篠原卓・吉田沙樹 (東京農業大学短期大学部)
9:45 -10:00	22. 整枝方法がパッションフルーツの収穫期と果実品質に及ぼす影響 椎木千晴 (千葉県農林総合研究センター)	菊野日出彦 (東京農業大学)	29. 小型ボタンボウフウ (<i>Peucedanum japonicum</i> Thunb.) の久米島における分布 *高江洲賢文・砂川春樹・島袋朝子・玉城盛俊 (沖縄県農業研究センター)
10:00 -10:15	23. マンゴー樹の地下部の冠水が皮目の形態および機能に及ぼす影響 *佐伯 爽 ¹ ・岩崎 直人 ² (1) 明治大学大学院農学研究科・(2) 明治大学農学部)		30. エジプトのナイルデルタにおけるトウモロコシ-ダイズ間作がその生育, 光合成および収量に及ぼす影響 *佐々木めぐみ ^{1,5} ・宮崎裕貴 ^{1,5} ・志水勝好 ^{2,5} ・Yousri Ibrahim ATTA ^{3,5} ・Ahmed M. Abd El-FATTAH ^{3,5} ・Korany Abdel-GAWAD ^{4,5} ・Sayed Ahmed SAFINA ^{4,5} (1) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・(2) 筑波大学生命環境系 (現鹿児島大学農学部)・(3) エジプト水管理センター・(4) カイロ大学・(5) JST/JICA, SATREPS
10:15 -10:30	24. 異なる時期におけるパクロプロトラゾール処理がマンゴー (<i>Mangifera indica</i> L.) の開花・果実品質に及ぼす影響 *原岡 剛志・菊野 日出彦・志和地 弘信 (東京農業大学)		31. ベトナム中部, バックマー国立公園周辺農村におけるバイオ炭普及事業後の課題 *及川洋征 ¹ ・Phan Vo Bao Dan ² ・Phan Quoc Dung ² ・Nguyen Vu Linh ² ・田中治夫 ¹ ・林谷秀樹 ¹ ・多羅尾光徳 ¹ (1) 東京農工大学 大学院農学研究院・(2) バックマー国立公園)
10:30 -10:45	25. ラオス中部の新規果樹園における幼木の初期生育の様相 *香西直子 ¹ ・緒方達志 ¹ ・Phaythoune MOUNSENA ² (1) 国際農林水産業研究センター 熱帯・島嶼研究拠点・(2) Horticultural Research Center, National Agriculture and Forestry Research Institute)		32. ソルガム栽培における自殺発芽誘導を利用した根寄生雑草ストライガ防除 *鮫島啓彰 ^{1,4} ・Abdel Gabar Babiker ^{2,4} ・滝川浩郷 ^{3,4} ・佐々木満 ^{3,4} ・杉本幸裕 ^{3,4} (1) 名古屋大学農学国際教育協力研究センター・(2) スーダン国立研究センター・(3) 神戸大学大学院農学研究科・(4) JICA/JST SATREPS)
10:45 -11:00	26. MA包装がシロサボテの貯蔵性に及ぼす影響 *前田隆昭 ¹ ・奥田 均 ² ・山田 毅 ³ (1) 南九州大学環境園芸学部・(2) 三重大院生物資源学研究科附属フィールドサイエンスセンター・(3) 住友ベークライト株式会社)	志和地弘信 (東京農業大)	33. Effects of biochar from rice husk and <i>Chromolaena odorata</i> on tomato growth and soil properties of upland acidic soil after forest conversion in Cambodia *Vicheka LORN ¹ ・Haruo TANAKA ² and Yosei OIKAWA ² (1) United Graduate School of Agricultural Science, Tokyo University of Agriculture and Technology・(2) Institute of Agriculture, Tokyo University of Agriculture and Technology)

11:00 -11:15	(学)	27. Changes in Activities of Sugar Metabolism Enzymes after Postharvest Heat Treatment in Banana Fruit *Abe Eiko Juliana ¹ · Yoshihiko Sekozawa ² · Sumiko Sugaya ² (¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba · ² Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)	(学)	34. Population Dynamics and Growth Pattern of the Brown Planthopper <i>Nilaparvata lugens</i> (Stal.) on rice fields in Prachin Buri- Central Thailand. *Laura Abril ¹ · Eiji Nawata ¹ and Wantana Sriratanasak ² (¹ Graduate School of Agriculture, Kyoto University, ² Bureau of Rice Research and Development, Rice Department, Thailand.)
-----------------	-----	--	-----	--